

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 1	軽井沢風越公園アイスアリーナ他6施設
指定管理者名	風越パークコーオペレイション
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	地域整備課 都市計画係

1. 収支状況

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収入状況					
指定管理料	236,000,000円	215,447,827円	20,552,173円	236,000,000円	236,000,000円
利用料	135,150,000円	145,097,980円	△ 9,947,980円	127,724,190円	138,684,240円
その他収入	65,084,000円	91,136,509円	△ 26,052,509円	65,814,664円	71,581,912円
収入計(A)	436,234,000円	451,682,316円	△ 15,448,316円	429,538,854円	446,266,152円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
支出状況					
人件費	109,880,000円	108,256,138円	1,623,862円	105,569,196円	101,435,061円
委託料	71,890,000円	67,444,558円	4,445,442円	64,634,241円	63,636,721円
修繕費	9,100,000円	8,296,817円	803,183円	7,795,617円	7,755,851円
その他管理運営費	134,450,000円	130,940,062円	3,509,938円	136,239,987円	118,920,847円
事業費	29,000,000円	23,634,240円	5,365,760円	22,602,237円	23,538,822円
その他支出	56,286,000円	65,586,955円	△ 9,300,955円	52,794,651円	58,270,382円
支出計(B)	410,606,000円	404,158,770円	6,447,230円	389,635,929円	373,557,684円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収支					
収入計(A)	436,234,000円	451,682,316円	△ 15,448,316円	429,538,854円	446,266,152円
支出計(B)	410,606,000円	404,158,770円	6,447,230円	389,635,929円	373,557,684円
収支(A-B)	25,628,000円	47,523,546円	△ 21,895,546円	39,902,925円	72,708,468円
特記事項 (年度協定に基づく清算金)		町への納入金 20,552,173円		町への納入金 20,700,000円	町への納入金 26,974,269円

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

アイスアリーナの利用者が少ない時間帯を使ったタイヤテスト及び各施設での大会数の増加等により利用料が増加した。

電気使用量は前年より減少しているが、燃料費調整単価(割引)が下がったこと、再生可能エネルギー発電促進賦課金(再エネ賦課金)の単価上昇により、光熱水費が前年を大きく上回った。

所管課記入

収入は前年度以上であった。

引き続き大会の誘致やリピーターの確保をし、支出に関しては常に光熱水費の節約や、無駄な人件費等がないかチェックを行い、支出削減に努めてもらいたい。

2. 施設利用状況

1-1	施設名	軽井沢風越公園アイスアリーナ				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	56,000 人	57,000 人	58,000 人			
実績値	58,037 人	57,207 人	58,362 人			
対前年度比	98.9%	98.6%	102.0%			
目標達成度	103.6%	100.4%	100.6%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	100.0%	100.0%	100.0%			
対前年度比	100.0%	100.0%	100.0%			
目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			

利用状況についてのコメント**指定管理者記入**

日本学生氷上競技選手権大会(ショートトラック競技・フィギュアスケート競技)、日韓青少年冬季スポーツ交流(ショートトラック競技)、J-iceセントラルディビジョン・国民体育大会冬季大会北信越・東海ブロック予選(アイスホッケー競技)の開催があり、利用者数増となった。

所管課記入

アイスホッケーをはじめ、フィギュア、ショートトラック等の各種大会が開催され、前年度以上の利用者数を確保することができた。

1-2	施設名	軽井沢風越公園グラウンド				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	6,500 人	9,500 人	11,000 人			
実績値	9,032 人	10,683 人	13,336 人			
対前年度比	—	118.3%	124.8%			
目標達成度	139.0%	112.5%	121.2%			

② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	61.3%	71.1%	51.4%			
対前年度比	—	116.0%	72.3%			
目標達成度	61.3%	71.1%	51.4%			

利用状況についてのコメント

<p>指定管理者記入</p> <p>各種大会関係者の口コミや、長野県観光誘客課との大会・合宿誘致により、グラウンドの周知グラウンドの周知が進んだことで利用者の定着化を図ることができ、利用人員の大幅な増加に繋がった。</p> <p>今年度も春先の合宿誘致に向け関係各所と協議を重ねていく。</p> <p>稼働率に関しては、軽井沢中学校のグラウンドが完成したため、サッカー部(無料)の利用がなくなり減少となった。</p>
<p>所管課記入</p> <p>年々利用者数は増加しているが、引き続き誘致活動を行い、さらなる利用者数の増加に期待する。</p>

1-3	施設名	スカップ軽井沢				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	61,500 人	68,000 人	71,000 人			
実績値	67,130 人	70,885 人	74,502 人			
対前年度比	109.4%	105.6%	105.1%			
目標達成度	109.2%	104.2%	104.9%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	100.0%	100.0%	100.0%			
対前年度比	100.0%	100.0%	100.0%			
目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			

利用状況についてのコメント

<p>指定管理者記入</p> <p>プールは、一般利用者が減少となったが、自主事業で水泳教室を前年度より多く開催したことにより、利用者、料金ともに微増となった。</p>

トレーニングルームは、自主事業の開催はもちろんのこと、仕事帰りなどのリピーターが定着してきており、前年度より 3,000 人弱増加した。

利用料に関しては、回数券購入者が増加した。

所管課記入

利用者数は順調に増加している。

特に、トレーニングルームは大幅に利用者数が増加しているため、器具のレイアウト等を再考する必要がある。

1-4	施設名	軽井沢風越公園屋外テニスコート				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	24,000 人	25,500 人	26,000 人			
実績値	25,591 人	25,632 人	27,082 人			
対前年度比	103.7%	100.2%	105.7%			
目標達成度	106.6%	100.5%	104.2%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値(%)	92.6%	96.8%	95.9%			
対前年度比	96.1%	104.5%	99.1%			
目標達成度	92.6%	96.8%	95.9%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

天候に左右されやすい屋外施設で、降雨や降雪により売り上げが減少した月もあったが、冬期間の降雪、積雪が少なく、比較的穏やかだったため利用者、利用料ともに微増となった。

所管課記入

利用者数は微増している。

平成 30 年度の人工芝リニューアル後は、さらなる増加に期待する。

1-5	施設名	軽井沢風越公園スケートリンク				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	16,000 人	17,000 人	18,500 人			
実績値	16,587 人	22,804 人	20,330 人			
対前年度比	107.6%	137.5%	89.2%			
目標達成度	103.7%	134.1%	109.9%			

② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	80.0%	80.0%	80.0%			
実績値	68.3%	74.7%	75.7%			
対前年度比	88.67%	109.43%	101.28%			
目標達成度	85.38%	93.43%	94.63%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

第90回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)が1月に開催され、好記録が出て好評をいただいた。

また、競技者と一般の方の滑走時間を区別する等の安全確保に尽力した。

ゴールデンウィークと夏休みに行った4時間遊び放題が好評だったが、夏は天気が悪い日が続き利用人数が伸びなかった。

所管課記入

スケート競技の普及や、大会の誘致、広報を引き続き行い利用者が増加することに期待する。

1-6	施設名	軽井沢風越公園カーリングホール				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	38,000人	39,000人	39,500人			
実績値	36,966人	40,330人	44,110人			
対前年度比	97.9%	109.1%	109.4%			
目標達成度	97.3%	103.4%	111.7%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	99.5%	98.6%	100.0%			
対前年度比	99.7%	99.2%	101.4%			
目標達成度	99.5%	98.6%	100.0%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

オリンピックの影響でメディアに取り上げられることも多く、カーリング体験や、旅行会社による団体の利用、また自主事業への参加者も増え、利用人数、利用料ともに増加となった。

所管課記入

大幅に利用者数が増加したのはオリンピックの影響が考えられる。

この勢いを一過性とせず、リピーターとなっていただけるような営業を期待する。

1-7	施設名	軽井沢風越公園総合体育館				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	65,000 人	88,000 人	86,000 人			
実績値	87,779 人	95,675 人	89,956 人			
対前年度比	139.5%	109.0%	94.0%			
目標達成度	135.0%	108.7%	104.6%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
対前年度比	100.0%	100.0%	100.0%			
目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

町民普通利用者、メインアリーナ・スタジオ町民占用利用者、また、自主事業への参加人数も増加している

昨年度(平成28年度)は国体開催に伴い無料利用者がいたため昨年比では減となった。

所管課記入

昨年度比で利用者数は減ったが、目標人数は達成している。

リピーターの確保の他、引き続き自主事業を実施することによる利用者数の増加に期待する。

3. 総合評価

指定管理者記入

軽井沢風越公園アイスアリーナ他6施設の管理運営を行うにあたり、施設利用者や風越公園来園者が安全に安心して楽しく利用できる施設作りを目指し、事業計画書に基づき施設の管理運営を実施した。

風越公園の利用状況は、前年度に比べ大きなイベントや大会の開催は少なかったが、1月に第90回日本学生氷上競技選手権大会のショートトラック競技、フィギュアスケート競技が風越公園アイスアリーナで、スピードスケート競技が風越公園スケートリンクで開催された。

これ以外にも、SC軽井沢クラブが平昌冬季オリンピックに出場するにあたり、ふれあいホールで壮行会を開催し、大会中にはパブリックビューイングを開催した。

平昌冬季オリンピック前には、カナダ、イギリス、ノルウェーの各国チームが風越公園で事前合宿を行った。

公園全体の利用人員は 327, 678 名で、前年と比較し国体開催による観戦者が相当数いたことを考え、前年割れを予想していたが、グラウンドでの大会開催数の増加やカーリングホールで実施しているカーリング体験の参加者数の増加等により 101. 38%とほぼ前年並みとすることができた。

利用料収入は、145, 097, 980 円で前年と比較し、104. 62%となり、約600万円増とすることができた。

昨年为国体開催期間中は無料での利用であったが、今年度はその期間、有料での利用となった事、風越公園の認知度が上がり合宿や大会開催数の増加、一般の方のリピート利用等が増加していることが要因と思われる。

今後も自主事業やイベントを定期的実施し利用者の増加を促進したい。

施設管理としては、効率的な人員配置を行うとともに、公園内の整備を専門に行うスタッフを配置し、植栽の剪定や草刈等の園内美化業務を実施した。

風越公園の管理方針でもある、安全・安心な施設作りを目指すうえで必要となる研修として、普通救命講習会(4月)、感染予防研修会(10月)、避難訓練(6月・1月)を実施した。

幸いにも今年度もこれらの研修内容を生かす場面には遭遇しなかったが、いつ発生しても迅速な対応が取れるように引き続き研修会や訓練を行っていく。

利用者からの公園作りへの提案や、職員の接客についてなど広く提案を受けるため、各施設に投書箱を設置し、いただいた意見は月ごとに掲示板やホームページで公開した。

利用に関する感想や施設の不備の指摘、運営に関する指摘等さまざまな意見をいただいた。

改善できる部分は改善し、より良い公園の管理運営のために活かしていきたい。

今年度も大きな問題もなく管理運営にあたることができた。次年度は指定管理期間の折り返しでもある 3 年目となる。

更により良い公園施設となるべく管理運営にあたっていきたい。

所管課記入

施設運営及び維持管理については適切になされている。

本年度はインカレスケート大会の開催により、全国的にも風越公園の周知が進んだ。

今後の利用者数の増加に期待している。

また、オリンピックの影響によるカーリング人気により、利用者数が増加した。

引き続き気軽に体験できる自主事業を実施してもらいたい。

職員の研修や、避難訓練等も実施してくれているが、予期せぬ事態に備え、不審者に対する対応マニュアルの作成を指示した。

風越公園施設を一括で管理運営するメリットを活かし、さらなる営業活動を行い、利用者数の増加、利便性の向上を目指し、また、すべての利用者が気持ちよく施設を利用できるよう丁寧な対応を行い、町民の福祉の増進に寄与することに期待したい。

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 2	軽井沢町都市施設さわやかハット
指定管理者名	一般社団法人 軽井沢町振興公社
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	地域整備課 都市計画係

1. 収支状況

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収入状況					
指定管理料	42,000,000円	40,640,312円	1,359,688円	43,800,000円	48,800,000円
利用料	22,100,000円	20,289,300円	1,810,700円	23,121,100円	21,477,100円
その他収入	10,958,000円	10,380,366円	577,634円	4,730,439円	7,408,373円
収入計(A)	75,058,000円	71,309,978円	3,748,022円	71,651,539円	77,685,473円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
支出状況					
人件費	15,110,000円	14,134,295円	975,705円	20,609,352円	16,172,220円
委託料	17,400,000円	17,179,887円	220,113円	16,434,404円	17,908,247円
修繕費	1,300,000円	1,284,962円	15,038円	2,045,520円	2,413,130円
その他管理運営費	26,777,000円	25,107,019円	1,669,981円	23,997,016円	23,278,958円
事業費	4,765,000円	3,666,648円	1,098,352円	4,768,940円	5,033,194円
その他支出	4,150,000円	1,219,209円	2,930,791円		1,388,791円
支出計(B)	69,502,000円	62,592,020円	6,909,980円	67,855,232円	66,194,540円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収支					
収入計(A)	75,058,000円	71,309,978円	3,748,022円	71,651,539円	77,685,473円
支出計(B)	69,502,000円	62,592,020円	6,909,980円	67,855,232円	66,194,540円
収支(A-B)	5,556,000円	8,717,958円	△ 3,161,958円	3,796,307円	11,490,933円
特記事項 (年度協定に基づく清算金)		町への納入金 1,359,688円		27年度は さわやかハットのみ	町への納入金 2,713,420円

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

駐車場は、軽井沢駅北口に民間の駐車場がオープンしたこともあり、利用台数、利用料金ともに減少した。

コインロッカーに関しては、しなの鉄道駅舎改修に伴い、一時しなの鉄道所有のロッカーが閉鎖されたため、さわやかハットのロッカー利用者が増加し、利用料は増となった。

所管課記入

平成 29 年度は(旧)軽井沢駅舎記念館の管理がなくなった。

収入は駐車場、コインロッカー共に周辺からの影響を受けやすい施設であるが、ほぼ前年並みの決算とすることができている。

支出に関しては常に光熱水費の節約や、無駄な人件費等がないかのチェックを行い、支出削減に努めてもらいたい。

2. 施設利用状況

2-1	施設名	軽井沢町都市施設さわやかハット				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	—	8,167人	—			
実績値	—	8,231人	—			
対前年度比	—	—	—			
目標達成度	—	100.8%	—			
① 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値(%)	—	95.0%	—			
実績値(%)	—	98.7%	—			
対前年度比	—	—	—			
目標達成度	—	103.9%	—			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

駅周辺の民間駐車場が増えたことにより、駐車車両が分散し長時間駐車が減少傾向となったことで、短時間の駐車車両の回転率上昇に伴い稼働率が上がった。

施設の設置趣旨である送迎用としての利用が増加していることから、利用者の利便性は向上していると考えます。

所管課記入

平成 29 年度から(旧)軽井沢駅舎記念館の管理がなくなったため、施設稼働率は 0 %。

駐車場・コインロッカーとも設置から年月が経ち老朽化が進んでいるが、改修案等についても、大型ロッカーへの入替他、現場で掴んでいるニーズにあった積極的な提案がなされている。

3. 総合評価

指定管理者記入

軽井沢町都市施設さわやかハットの施設管理運営を行うにあたり、施設利用者が安全・安心で清潔な施設環境を提供することを目指し、事業計画書に基づき施設の管理運営を実施した。

コインロッカーの利用状況は前年対比 106.4%であった。

今年度はしなの鉄道リニューアル工事期間(11月～3月期)があり、期間中しなの鉄道のコインロッカーが撤去されたため、その間さわやかハットのコインロッカーに利用者が流れてきたことが大きな要因と考える。

また、自主事業での両替機の設置により、利用者の利便性が向上したこと、とかく手荷物の多い外国人旅行客の増加も要因に挙げられる。

増加傾向にある外国人観光客対策を考慮しながら、施設環境の整備を行い事業計画を達成するようにしたい。

駐車場の利用状況は前年対比 89.9%、売上では同 92.7%となった。

各駐車場別では、北口広場駐車場が利用台数で同 97.5%、売上で同 102.5%、南口広場駐車場は利用台数で同 83.1%、売上で同 83.9%となった。

南口広場駐車場の利用減少は、駅周辺に民間駐車場が増えたことで、ショッピングプラザの買い物客による30分以上の長時間駐車の利用者が分散したことが大きな要因と考える。

巡回時の点検でも、2時間以上の長時間駐車している車両が減少している印象である。

反面、車室が空く時間が増え、送迎車両が駐車しやすい状況となっている。

駐車場管理システムは設置後20年が経過し老朽化が進んでおり、誤作動によるトラブルが増加傾向にある。

交換部品の枯渇により中古品を使って施設整備を行っている部分も多い。

誤作動が起りやすいことを情報共有し、注意深く管理していく。

施設管理としては、清潔な施設環境を利用者に提供できるよう、清掃業者による日常清掃のほか職員による定時巡回清掃を行い、環境美化及び施設整備に努めた。

効率的な人員配置をし、植栽維持管理、修繕、保守点検を行った。

突発的な修繕が多く発生するが、早急に対応できることはすぐに対応し、高額な事案については、町と協議しながら効率的に修繕を行っていきたい。

安全・安心な施設作りを目指すうえで必要となる研修として、普通救命講習(4月)、エレベーター緊急停止時の救助講習(7月)、感染予防研修(10月)等を行った。

いつ発生しても迅速な対応が取れるように引き続き研修会や訓練を行っていく。

また、ミサイル避難訓練で得た情報を職員間で共有し、利用者の安全確保につなげていきたい。

施設への苦情、要望、不備等は、観光案内所にも協力をいただき意見収集及び迅速な対応に努めた。

次年度は指定管理3年目である。

より良い施設管理運営のため、JR等関係機関はもとより、各テナントと協働して、年間850万人以上が訪れる軽井沢町の玄関口として、恥ずかしくない施設づくりを行っていききたい。

所管課記入

施設の管理運営は適切になされている。

平成 29 年度は、(旧)駅舎記念館の管理が指定管理から外れた他、しなの鉄道駅舎リニューアルに伴う影響等があり、変化のある年度であった。

そのような状況の中、町をはじめ鉄道会社等と密に連絡をとり、利用者の安全や利便性の向上を図るサービスを提供してくれた。

施設の管理に関しては適切に保守点検を実施し、また、修繕等で必要があれば町に協議もなされている。

特に老朽化した駐車場システムに関しては注意深く管理してくれている。

職員の研修や、避難訓練等も実施してくれているが、予期せぬ事態に備え、不審者に対する対応マニュアルの作成を指示した。

利用者も多く、周辺の施設による影響や、外国人観光客の増加等管理運営の難しい施設であるが、軽井沢の玄関口であるという意識を持ち、引き続き適切な管理運営に期待したい。

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 3	軽井沢町老人福祉センター外1施設
指定管理者名	佐久浅間農業協同組合
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	保健福祉課 高齢者係

1. 収支状況

項目		予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収入状況	指定管理料	30,500,000円	30,500,000円		30,000,000円	30,000,000円
	利用料	1,800,000円	2,106,810円	△ 306,810円	1,955,964円	2,022,336円
	その他収入	70,000円	73,994円	△ 3,994円	80,803円	75,544円
	収入計(A)	32,370,000円	32,680,804円	△ 310,804円	32,036,767円	32,097,880円

項目		予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
支出状況	人件費	9,200,000円	8,893,114円	306,886円	9,021,064円	9,170,086円
	委託料	7,500,000円	7,383,636円	116,364円	6,687,360円	7,425,540円
	修繕費	1,300,000円	1,134,773円	165,227円	916,308円	1,361,166円
	その他管理運営費	11,100,000円	10,760,544円	339,456円	10,994,585円	9,673,330円
	事業費	3,270,000円	3,138,000円	132,000円	3,111,000円	3,485,000円
	その他支出					
	支出計(B)	32,370,000円	31,310,067円	1,059,933円	30,730,317円	31,115,122円

項目		予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収支	収入計(A)	32,370,000円	32,680,804円	△ 310,804円	32,036,767円	32,097,880円
	支出計(B)	32,370,000円	31,310,067円	1,059,933円	30,730,317円	31,115,122円
	収支(A-B)		1,370,737円	△ 1,370,737円	1,306,450円	982,758円
特記事項 (年度協定に基づく清算金)			町への納入金		町への納入金	町への納入金
			別途入湯税 605,800円		別途入湯税 562,650円	別途入湯税 590,200円

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

- 事業計画及び収支計画に基づき、健全で適正な会計処理を心がけた。
- 年末年始を除き休館日がないため、光熱水費の削減に努めた。
- 今後もサービス向上に努め、高齢者が利用しやすい快適な施設を目指し、より多くの方々に利用いただくよう創意工夫に努めていきたい。

所管課記入

○ 月定例会及びモニタリングにより適正な収支状況であることを確認している。

施設利用者増に向けての取り組みについても継続的なイベント湯を開催し好評であるが、新たな利用者の獲得に向けた企画立案をされ、利用者増に繋がりたい。

2. 施設利用状況

3-1	施設名	軽井沢町老人福祉センター				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	19,000人	19,000人	19,000人			
実績値	18,541人	19,024人	20,541人			
対前年度比	99.6%	102.6%	108.0%			
目標達成度	97.6%	100.1%	108.1%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	100.0%	100.0%	100.0%			
対前年度比	100.0%	100.0%	100.0%			
目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

○ 「さくら草の湯」において、イベント温泉を3回(しょうぶ・かりん・りんご)開催した。

イベント温泉のお知らせは、新聞のカラー折り込みチラシ配布や、JA軽井沢支所だより、JA広報誌JAHOOに掲載した。

○ JA「みどりのひろば軽井沢」直売所との連携により「野菜」、「望月高原ヨーグルト」、また、JA生活部生活購買課と連携した安全な食の提供(一般食品(パン・甘酒))等の販売を行い、老人福祉センター利用者や買い物に不便を感じている皆さん等にサービス向上及び利用促進に取り組んだ。

○ 年間行事の「バレンタインデー・ホワイトデー」に合わせて利用者にプレゼントを配布した。

所管課記入

○ 恒例のイベント湯を開催し、いずれも好評であり、利用状況も対前年度を上回った。

○ 趣味クラブや、各地区老人クラブの活動のために、バスによる送迎を行い、老人福祉センター利用者の増加、また、各地区老人クラブからの要請を受け、町内外の温泉施設への送迎を行うことにより、外出機会を増やすことについての取り組みは評価できる。

引き続き利用者に喜ばれる企画を検討、実行いただき固定利用者を含め新たな利用者獲得に努められたい。

3-2	施設名	屋内多目的運動場				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	1,800人	1,800人	1,800人			
実績値	1,284人	1,855人	1,762人			
対前年度比	110.4%	144.5%	95.0%			
目標達成度	71.3%	103.1%	97.9%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	40.0%	40.0%	40.0%			
実績値	40.0%	40.0%	40.0%			
対前年度比	100.0%	100.0%	100.0%			
目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

○ 老人福祉センターと同様「軽井沢町老人福祉センター運営委員会」を7月に開催し、利便性の向上と利用者からの意見・要望について改善策を検討した。

また、利用者満足度調査は、89名にアンケート協力をいただいた。

○ 実施にあたり、クイズ形式を取り入れ、回収率の向上を図った。

また、要望等への改善に努めた。接遇・コミュニケーション研修会を開催し、接遇の質の向上を図った。

所管課記入

○ 運動場を利用するクラブ員の減少は顕著に表れているが、固定したクラブ以外での活用についても創意工夫され、施設の目的でもある健康増進や交流の場等として利用されるよう、改善に努められたい。

3. 総合評価

指定管理者記入

○ 利用者のニーズに合った野菜や、一般食品等の販売をJAみどりのひろば軽井沢直売所やJA生活部生活購買課と連携し、来館者に喜ばれる取組を行った。

また、買い物に困っている方の支援ができた。

○ 健康増進、交流を目的とした介護予防教室を開催し、地域のみなさんに大勢参加いただき、いつまでも元気で生活いただけるよう内容も充実させ実行した。

○ 今後もサービス向上に努め、高齢者が利用しやすい快適な施設を目指し利用の増加に努めたい。

- 次世代との交流を図るため、趣味クラブに協力をいただき、正月の書道教室を開催し、世代を超えた交流ができた。
また、次世代には『老人福祉センター』を知ってもらう機会になった。
- 屋内多目的運動場については、ゲートボール等競技人口が年々減少傾向にあるが、地元クラブや趣味クラブ等に施設利用を積極的に働きかけ、老人福祉センター同様に健康増進と交流を目的に利用者の増加に努めたい。

所管課記入

- 月定例会により、改善事項を確認することにより利用者の安心安全確保が図られており、老人福祉センター・多目的運動場を含め、利用者にとって、良好な環境での利用ができている。
- 利用者からの苦情等もなく、引き続き親しまれる管理運営に努められたい。
- 更なる利用者の増加に向け、パンフレットや、ホームページの作成について検討されたい。
- 町老人クラブ連合会事務を司るうえで、地区老人クラブが各地域において中心的な役割として活動できる工夫とクラブ加入促進に努められたい。
なお、現状に満足することなく、今後より多くの方に利用してもらえよう双方でアイデアを出し合いより良い施設になることを望む。

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 4	軽井沢町地域交流施設くつかけテラス
指定管理者名	株式会社フードサービスシワ
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	観光経済課 観光商工係

1. 収支状況

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収入状況					
指定管理料	49,000,000円	49,000,000円		50,000,000円	49,000,000円
利用料	1,060,000円	1,621,103円	△ 561,103円	1,112,233円	1,062,065円
その他収入	1,700,000円	1,834,814円	△ 134,814円	1,850,266円	1,792,796円
収入計(A)	51,760,000円	52,455,917円	△ 695,917円	52,962,499円	51,854,861円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
支出状況					
人件費	18,400,000円	18,400,000円		18,400,000円	18,400,000円
委託料	7,422,000円	6,348,500円	1,073,500円	7,619,676円	7,322,352円
修繕費	1,300,000円	1,142,186円	157,814円	649,652円	637,016円
その他管理運営費	18,709,000円	17,255,401円	1,453,599円	12,658,352円	16,145,909円
事業費	5,929,000円	6,061,188円	△ 132,188円	6,541,505円	5,424,924円
その他支出		2,554,517円	△ 2,554,517円	3,057,198円	2,864,023円
支出計(B)	51,760,000円	51,761,792円	△ 1,792円	48,926,383円	50,794,224円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収支					
収入計(A)	51,760,000円	52,455,917円	△ 695,917円	52,962,499円	51,854,861円
支出計(B)	51,760,000円	51,761,792円	△ 1,792円	48,926,383円	50,794,224円
収支(A-B)		694,125円	△ 694,125円	4,036,116円	1,060,637円
特記事項 (年度協定に基づく清算金)		町への納入金 555,581円		町への納入金 1,607,000円	町への納入金 1,060,637円 納入金のうち、自販機 の電気料104,890円

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

- 収入額増については、コインロッカーや自動販売機の売上増及びくつかけ市場の参加費が主な要因です。
- 支出については、積雪日の大幅な減で委託費のうち除雪経費が抑えられた。
電気料金は電気単価の変動や天候、除雪経費も天候により大幅な変動があるが、29年度はいずれも恵まれた決算になりました。
- 委託費の決算額予算額対比の差は除雪経費が主な要因です。

○ その他支出額は収支差額による本社経費の増額分です。

所管課記入

○ 収入状況について、駐車場、コインロッカー、自動販売機の売上増加、くつかけ市場参加費により決算額が予算額を上回った。

○ 支出状況について、降雪日が少なかったため除雪委託経費が減となり支出を抑えることができた。しかし、電気料、水道料金は昨年度より支出が増加しており、今後使用方法を工夫する必要がある。

○ 修繕費については、予算額内にて執行を行っているものの、今後、設備等の経年劣化による修繕費増が考えられることから計画的な修繕を行うことが必要である。

2. 施設利用状況

	施設名	軽井沢町地域交流施設くつかけテラス				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	610,000人	620,000人	630,000人			
実績値	626,387人	657,223人	734,954人			
対前年度比	102.9%	104.9%	111.8%			
目標達成度	102.7%	106.0%	116.7%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	100.0%	100.0%	100.0%			
対前年度比	100.0%	100.0%	100.0%			
目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

施設利用は数年前の大雪降雪時においても稼働し、基本協定書に基づき年間全日稼働している。

所管課記入

平成 29 年度の施設利用状況について目標数を上回ったが、実績値にはしなの鉄道利用者数及び中軽井沢図書館利用者数が含まれているため、その中から、くつかけテラスの収益に繋げられるよう工夫すると共に、地域活性化を踏まえ更なるイベント等を充実させるべく、継続事業に加え新たな事業展開を促進していく。

3. 総合評価

指定管理者記入

基本協定書に則り適正な管理運営を実施しています。

地域交流施設の目的に添って、地元商工会や図書館友の会との連携を図り、活発な自主事業を通して、地元住民・町民・別荘住民・観光客からの理解を得ています。

所管課記入

- 施設管理面においては、常に利用者の利便性を考慮し、気配りがなされていた。そのため、利用者から施設が清潔に保たれているとの声も多く聞かれる。
- 地域交流施設であることから、くつかけ市場の開催やウインターイルミネーション、チャレンジショップを設置するなどし、町民の交流及び中軽井沢地域の活性化に貢献した。
- 秋のホリデーウォーク2017大会において、紅葉まつり実行委員会と協力するなど、くつかけテラスの知名度と利用者の利便性の向上に努めた。
- 今後においても中軽井沢図書館、中軽井沢駅の利用者数を増加させるため、地域交流施設としてのさらなる地域活性化を図るよう、企業努力を引き続き行う必要がある。
- 今後において、経営状況が把握できるよう関係帳簿（貸借対照表、損益計算書等）の整備を促す。

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 5	軽井沢観光会館
指定管理者名	一般社団法人 軽井沢観光協会
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	観光経済課 観光商工係

1. 収支状況

項目	予算額	決算額	差引	(参考)27年度	(参考)28年度
収入状況					
指定管理料	11,590,000 円	11,800,000 円	△ 210,000円	10,600,000 円	11,162,556 円
利用料	5,680,000 円	5,291,550 円	388,450円	6,807,575 円	6,264,222 円
その他収入	330,000 円	72,869 円	257,131円	382 円	282,834 円
収入計(A)	17,600,000 円	17,164,419 円	435,581円	17,407,957 円	17,709,612 円

項目	予算額	決算額	差引	(参考)27年度	(参考)28年度
支出状況					
人件費	9,375,000 円	9,269,565 円	105,435円	9,176,901 円	8,988,809 円
委託料	1,669,000 円	1,706,624 円	△ 37,624円	1,559,442 円	1,807,952 円
修繕費	1,300,000 円	1,282,176 円	17,824円	616,334 円	926,136 円
その他管理運営費	4,221,000 円	3,309,918 円	911,082円	3,579,746 円	1,028,533 円
事業費	200,000 円	40,200 円	159,800円		
その他支出	825,000 円	1,106,307 円	△ 281,307円	866,314 円	872,704 円
支出計(B)	17,590,000 円	16,714,790 円	875,210円	15,798,737 円	13,624,134 円

項目	予算額	決算額	差引	(参考)27年度	(参考)28年度
収支					
収入計(A)	17,600,000 円	17,164,419 円	435,581円	17,407,957 円	17,709,612 円
支出計(B)	17,590,000 円	16,714,790 円	875,210円	15,798,737 円	13,624,134 円
収支(A)-(B)	10,000 円	449,629 円	△ 439,629円	1,609,220 円	4,085,478 円
特記事項 (年度協定に基づく清算金)		町への納入金		町への納入金	町への納入金 637,444円

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

- 有料トイレは「有料」であることを念頭に置き、清潔・安全なトイレを維持することに心掛けた。付近の無料トイレとの差別化を動画にてPRLした。
- 展示室、会議室、有料トイレの利用促進を図るため、観光協会ホームページやFaceBookにて発信。
- ベル、マグネット、はがきなど、観光に来られたお客様に喜んでいただけるお土産品を作成、窓口にて販売。

- 物産ブースの展示商品を撤去、収入に繋がられるよう、貸し出しスペースとして整える方向。
- 休憩室に自販機設置

所管課記入

- 修繕費については予算内で行うことができたが、現状老朽化が進んでいるため、点検や修繕等今後計画的に行うことが必要と考えられる。
- 事業全体について、予算を超えて執行している箇所も見受けられるため、今後、過去の事業実績を検証しつつ計画的に予算を立て執行するよう指示する。

2. 施設利用状況

	施設名	軽井沢観光会館				
① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	185,000人	180,000人	180,000人			
実績値	143,976人	171,155人	157,321人			
対前年度比	97.0%	118.9%	91.9%			
目標達成度	77.8%	95.1%	87.4%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%			
実績値	100.0%	95.1%	95.1%			
対前年度比	100.0%	95.1%	100.0%			
目標達成度	100.0%	95.1%	95.1%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

- 有料トイレは「有料」であることを念頭に置き、清潔・安全なトイレを維持することに心掛けた。付近の無料トイレとの差別化を動画にてPRLした。
- 物産ブースの展示商品を撤去、収入に繋がられるよう、貸し出しスペースとして整える方向。

所管課記入

- 利用者数の実績値が減少している。
近くに新たな公衆トイレが新設されたことが一因としてあるが、これからも引き続き情報発信などで利用者数の確保に努めていただきたい。

3. 総合評価

指定管理者記入

【総合】

- 年間 850 万人の観光客をお迎えしている軽井沢の中心地であり、観光会館での印象が、軽井沢の印象を大きく変えると職員も自覚して、職務に取り組んでいる。
- インバウンドへの観光案内など、多様化する観光案内にも対応出来る職員を配置している。
- 別荘の方へも配慮して、「心ある観光会館」を目指して、日々努めた。

【職員間の情報連絡・連携】

- 2ヶ月に1度、職員全体の会議を開き、職員間の情報共有、意見交換を行い改善。
- 状況等に応じて、職員間で連絡、相談、報告をして、円滑な運営を図ることに努めた。
- 職員が歩いて観光会館周辺各店舗の情報を収集し、観光案内所職員や事務局職員と共有するよう努めた。

【環境整備】

- 毎年花いっぱい運動に参加、5月に植栽。
季節に合わせて、ロビーに花やオブジェを置き、お客様を楽しませた。
- 建物は老朽化のため、点検をまめにして、修繕や植栽の剪定に努めた。

【展示室】

- 展示室B.Cに「鉄道に関する展示物」が入る。
POPを制作するなど、もっと多くの方に知っていただくために情報発信を努める。

所管課記入

- 施設の維持管理は適切に行われており、有料トイレ館内は常に清潔に保たれている。
職員のおもてなし精神を持った接客により、多くの観光客からプラスの言葉を多くいただいている。今後も期待するとともに、観光客からのアンケートのリクエストに応えるなど、サービスの向上に努めていただきたい。
- ホームページやFacebookによる情報発信など様々な観点から自主事業を展開し、稼働率及び目標指数に掲げている利用者数の確保に向けて努めていただきたい。
- 年々展示スペースを活用している事業者が減少しているため、情報発信等で、2階にある展示ホールをPRするとともに、1階スペースについてもプロジェクターを利用させた講演等の開催や、ジオラマの展示空間の今後の利活用を検証し、より多く来場していただく創意工夫を促していく。

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 6	軽井沢町観光振興センター
指定管理者名	一般社団法人 軽井沢観光協会
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	観光経済課 観光商工係

1. 収支状況

項目		予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収入状況	指定管理料	15,500,000 円	14,391,680 円	1,108,320円		14,578,676 円
	利用料	520,000 円	519,000 円	1,000円		453,240 円
	その他収入	1,000 円	57 円	943円		
	収入計(A)	16,021,000 円	14,910,737 円	1,110,263円		15,031,916 円

項目		予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
支出状況	人件費	9,000,000 円	8,126,572 円	873,428円		7,542,148 円
	委託料	1,272,000 円	1,558,548 円	△ 286,548円		1,731,528 円
	修繕費	1,300,000 円	237,600 円	1,062,400円		390,096 円
	その他管理運営費	3,720,000 円	4,168,069 円	△ 448,069円		308,505 円
	事業費					
	その他支出	728,000 円	830,948 円	△ 102,948円		2,851,431 円
	支出計(B)	16,020,000 円	14,921,737 円	1,098,263円		12,823,708 円

項目		予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度
収支	収入計(A)	16,021,000 円	14,910,737 円	1,110,263円		15,031,916 円
	支出計(B)	16,020,000 円	14,921,737 円	1,098,263円		12,823,708 円
	収支(A-B)	1,000円	△ 11,000円	12,000円		2,208,208 円
	特記事項 (年度協定に基づく清算金)		町への納入金 1,108,320円		28年度より 指定管理開始	町への納入金 921,324円

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

- 支出について、予算計画とかい離しているところは、来年度に向け改善していきたい。
- 今後、講習会や研修等の企画を行い会議室利用の促進をし、更なる収益に繋げられるよう努める。
- 振興センターに来場していただけるよう工夫し、観光拠点として、さらに認知していただけるよう努めたい。

所管課記入

○ 昨年度に比べ収入が増えているが、今後においても自主事業企画を計画し、利用者数の増加や収益に繋げられるよう実施してもらうとともに、施設の雰囲気づくり等工夫し観光客等が入りやすい環境づくりにも期待する。

2. 施設利用状況

① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値		10,000人	11,000人			
実績値		8,578人	8,763人			
対前年度比		—	102.2%			
目標達成度		85.8%	79.7%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値		100.0%	100.0%			
実績値		85.8%	85.8%			
対前年度比		—	100.0%			
目標達成度		85.8%	85.8%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

- 観光協会や協議会などの会議にも会議室として使用しているが、参加者を利用者としてカウントしていなかったため、30年度からカウントしていきたい。
- 有料で会議室を使ってもらう様に情報発信に力を入れたい。

所管課記入

- 実績値については年々増加しているが、目標達成率については、目標値をあげていることもあり、減少傾向にある。
- 今後は更に会議室等の利用促進に向け創意工夫、情報発信等に努めていきたい。

3. 総合評価

指定管理者記入

- 公共性を念頭に管理運営を行っている。
- 毎日日誌をつけ、情報共有を図り、サービス向上に努めている。
- 他観光案内所と情報共有し、連携を図っている。
- お客様の声を職員内で共有し、適切、且つ迅速な対応にあたっている。

- 案内所機能としてはお客様用のテーブル・椅子があり、休憩も出来る為、満足の声をいただいている。
- 授乳場所の提供など、公共施設としての役割が果たせるように臨機応変に対応している。
- 観光会館や発地市庭など、他指定管理施設との連携事業を実施し、施設を有効活用できるようにしていきたい。

所管課記入

- 来館者に対し、おもてなし精神を念頭に置き、外国語が話せる職員を配置するなど柔軟な接客に努めている。
- 施設の維持管理は適切に行われており、清掃や花を飾ることで、快適な環境でお客様を迎えられるよう、常に清潔に保たれているので、更にお客様が入りやすい環境を玄関先より検討し、整えてもらいたい。
- 他の指定管理施設とも情報共有を図り、更なる管理運営の向上のほか、窓口での物品販売等、創意工夫して自主事業を行い、これからも観光振興の場として適切な管理運営を期待する。

平成 29 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況及び評価シート

協定 7	軽井沢町農産物等直売施設 軽井沢発地市庭
指定管理者名	株式会社フードサービスシワ
指定管理期間	28年 4月 1日 ~ 33年 3月31日
所管課/係名	観光経済課 農林振興係

1. 収支状況

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度	
収入状況	指定管理料	25,000,000円	25,000,000円		-	25,000,000円
	利用料	5,000,320円	4,749,376円	250,944円	-	3,843,085円
	その他収入	20,900,000円	26,231,852円	△ 5,331,852円	-	18,563,444円
	収入計(A)	50,900,320円	55,981,228円	△ 5,080,908円		47,406,529円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度	
支出状況	人件費	23,600,000円	23,600,000円		-	23,605,000円
	委託料	6,164,608円	4,867,200円	1,297,408円	-	5,728,148円
	修繕費	1,300,000円	1,320,000円	△ 20,000円	-	1,333,854円
	その他管理運営費	13,430,000円	13,574,328円	△ 144,328円	-	6,889,836円
	事業費	1,410,000円	10,566,610円	△ 9,156,610円	-	10,911,212円
	その他支出	4,388,400円	3,941,090円	447,310円	-	1,881,924円
	支出計(B)	50,293,008円	57,869,228円	△ 7,576,220円		50,349,974円

項目	予算額(C)	決算額(D)	差引(C-D)	(参考)27年度	(参考)28年度	
収支	収入計(A)	50,900,320円	55,981,228円	△ 5,080,908円		47,406,529円
	支出計(B)	50,293,008円	57,869,228円	△ 7,576,220円		50,349,974円
	収支(A-B)	607,312円	△ 1,888,000円	2,495,312円		△ 2,943,445円
	特記事項 (年度協定に基づく清算金)		町への納入金		28年度より 指定管理開始	町への納入金 指定管理料 変更なし

収支状況についてのコメント

指定管理者記入

平成 29 年度は、事業計画の数値目標を計上できませんでしたが、収支としては1,888,000円のマイナス経常となりましたが、その事由としては、厳寒による光熱費の支出増、農業振興と6次産業化の推進を目的に講演会、協議会の開催等の事業を追加したことによるものです。

初年度の来場実績を及び直売所会員の出荷量の増大を踏まえ、誘客事業の予算を増加しましたが、他の同類施設とは一線を画した国際的な保養地である軽井沢に相応しい上質な食文化の発信を目的とした《アペリティフ軽井沢》、交流人口が多い軽井沢の特性と復興支援をテーマとした《各地伝統芸能共演夏祭り》等の魅力溢れたイベント事業を実施し、前年を上回る実績を計上する事ができました。

29年度は次年度に向けた発展の年となり、今後は、経営の健全化の実現が可能と考えます。

事業費の予算額 1,410千円に対し、決算額が 10,566千円の実績につきましては、事業費の原資予算として 1,410千円を繰り出し、営利、非営利事業毎に収支を計上しています。

決算上は事業費の総収入、総支出を計上し、報告しています。

所管課記入

平成 29 年度の収入については、各種イベント等における自主事業収入の増もあり、計画数値を上回ることができた。

支出については、厳寒による光熱費の増、イベント開催に伴う広告宣伝費が当初計画よりも増となってしまったが、軽井沢ならではの、非日常を感じることができる空間、時間を演出した各種イベントを開催するなど、他の同類施設との差別化を打ち出していることは、国際親善文化観光都市としてのブランドを高めているとともに多くの集客につながっている。

今後は、収支計上がプラスに転じることを期待する。

また、大きな収入面である自主事業収入の更なる拡大を期待する一方で、集客増員の大きな要因であるイベント開催経費の削減努力を求めていきたい。

2. 施設利用状況

① 利用者数						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値		250,000人	278,000人	264,000人	270,000人	270,000人
実績値		246,004人	252,067人			
対前年度比		—	102.5%			
目標達成度		98.4%	90.7%			
② 施設稼働率						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値		82.0%	90.7%			
対前年度比		—	110.6%			
目標達成度		82.0%	90.7%			

利用状況についてのコメント

指定管理者記入

施設利用につきましては、事業計画対比は、未達成ではありますが、生鮮品の集荷状況の進捗と並行して増加しています。

初年度のファミリー層中心の客層から若年層、インバウンドを含め幅広い支持を集めており、約90%が観光客、内20%が別荘利用者の構成で、イベント等の連携と誘致で地元住民の利用者も増加しています。

また、リピーターの数も多く、多くの方々に愛されている施設だと実感しています。

イベントスペース等の貸館利用も、公共性のある申し込みが増加しており、そば打ち室の稼働も主催団体の協力で利用数も増加しています。

ツーリスト等の団体誘致も積極的に実施いたしました。

所管課記入

指定管理者として積極的な誘客活動を展開しており、ツーリスト等の団体及び幅広い客層の利用増加に反映されていることが見受けられる。

利用者の約90%が町外であるが、各種イベントに参加する地元の方も増加傾向にある。

また、軽井沢産の農産物を買求めるのみでなく、指定管理者が実施している各種イベント内容も多岐にわたっていることから、今後も利用者の増加に期待が持てる。

3. 総合評価

指定管理者記入

開業2年目の軽井沢発地市庭は、初年度の実績を踏まえ、生産者や関係各所と連携を図り、農産物や特産品を安定的に供給し、多種多様な機能・サービスの提供により、来場者の満足度の向上に努めました。

適正な維持・管理運營業務と地域交流及び地域振興を目的としたイベント等の開催により、来軽者や地元住民にも親しまれ、持続的な発展に繋がる運営を実施いたしました。

6次産業の推進を目的とした「地方創生時代の稼ぐ地域づくり」をテーマに、講師を招いての講演会開催、「加工品・土産品出品事業者会」に於いての地場産品による新たな商品開発の協議等を重ね、農業と商工の連携による商品開発に着手いたしました。

《軽井沢発地そば》の商品化、《軽井沢産グリーンボールピクルス》の商品化、《霧下野沢菜漬》の商品化等、発地市庭ながらの商品群の開発により、来場者から高評価を頂きました。

軽井沢そばの普及事業としてのそば打ち教室は、町内関係団体の協力の元、稼働率は113%、1,088人の利用がありました。

台湾、タイ等のインバウンドの利用者もあり、日本の伝統食文化の継承や、豊かな日本の食文化を体験頂きました。

課題としては、平成29年度事業計画の数値目標は達成しましたが、地場野菜の不足する冬季の集荷並び売場対策、増加する来場者の対応と施設整備、6次産業化の更なる推進等、課題も浮上しました。

しかしながら、市庭関係者による管理運営協議会の定期協議により、円滑な推進、効率的な取り組みを具現化する環境が構築され、迅速な計画立案が実施されています。

町有施設として、役場及び関係部署との連携構築も図られ、イベント支援、発地NaVi、道路愛称募集等の協働事業や保育園、中学校等の連携による地域交流の取り組みも実施しました。

開業2年目の実績は、国際的なリゾート都市《軽井沢》に相応しい質量とも優れた、お客様の賑わう発地市庭の今後の営業確立の基盤となる年度であったと考えています。

所管課記入

農業振興については、地元で収穫された新鮮野菜を生産者や関係各所との連携により直売しており、シーズン中における主要となる品目は、安定供給出来ている。

しかし、冬期期間中の品薄状態の対処方法については、長野県との共同による地元野菜の供給から物流までの協議を進めており農産物等のブランド化及び商工業との連携を進めているほか、中部横断自動車道の線開通を見据え静岡県方面との地域間交流による野菜の供給、提供の協議も進めているところである。

6次産業の推進については、軽井沢産のそば粉を使用した「発地そば」を販売しているほか、そば打ち体験教室の開催、軽井沢産のグリーンボールを使用したピクルスを販売するなどし、積極的な動きが見られる。

今後においても、更なる6次産業の推進に期待したい。

誘客増大施策については、開業から2年を経過し、地域交流及び地域の活性化を目的とした各種イベント事業は計画来場者を超え大きな成果が見られた。

これまでの指定管理者の努力もあり、平成30年4月には、平成28年6月のグランドオープン以降1年10ヶ月で来場者数50万人を達成したところである。

今後の課題とすれば、更なる来場者数の増大に向けて、他の同類施設には見られない商品や発地市庭特有の魅力を発信することが求められる。

更に生産者の意欲を更に向上させるための6次産業化の強化、住民参加型イベントの計画等も期待をしたい。

また、発地市庭施設単体の経営状況が把握できるよう関係書帳簿の整備を促していく。